

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要		事業開始年度		平成16年度		根拠法令・例規等			
総合計画	大項目	基本目標	05	住民主体の協働のまちづくり		問	このシート作成に要した時間		
	中項目	基本施策	01	住民主体で進めるまちづくり				担当課(室)	まちづくり推進課
	小項目	施策	03	ボランティア・NPO				職・氏名	協働推進係長 竹林 幸作
事務事業名		02	ボランティア活動支援事業		先	電話	0869-64-1806		
						3.0 時間			

事業の目的	
対象 (誰・何に対して)	ボランティア活動に関心のある方
目的 (何のために)	ボランティア活動の推進と啓発
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	ボランティア活動への参加者を増やし、市政への参画と協働のまちづくり推進する。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するために実施した事業	細事業名	ボランティア活動を担うリーダーなどの人材育成事業。		
	人材育成事業	ボランティア・NPO育成事業		
	ボランティア・NPO育成事業	ボランティア・NPOとの協働と活動支援。		
	ボランティア人材バンクシステム事業	市民・地域活動などに貢献いただく人材バンクの構築。		

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費	千円	279	58	107
	必要人員人件費	千円	0.03人	0.01人	0.01人
	事業費計	千円	279	66	107
財源	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
	その他()	千円			
一般財源	千円	279	66	107	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	新規登録者数	説明	ボランティア登録制度への新規登録者		
	対前年比	%	-	-	0.0%
	対活動コスト	円	#DIV/0!	0	#DIV/0!

事業の成果		年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
新規登録者	成果指標名	目標値(A)				
		実績値(B)		2		到達目標値
		達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標設定の考え方・式や説明						
ボランティア登録制度への新規登録者数の増加によりボランティア活動の意識高揚へとつなげる。						

事務事業の評価		妥当性の評価	効率性の評価	有効性の評価			
市との関与の妥当性の評価	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	妥当性評価 <A-E> C	効率性評価 <A-E> C	有効性評価 <A-E> D
	市民ニーズ						

留意事項の目的がその数値目標であること下指しに

進行年度(H22年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	状況								
	説明	ボランティア登録は、随時行っている。							

総合評価		評価区分 <A-E>	A 妥当性 B 効率性 C 有効性
関係機関と連携することでボランティア活動を活性化させる必要がある。		D	

平成23年度の方向性及び取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	方向性								
	取組目標	まちづくり基本条例に規定されている住民主体の協働のまちづくりを推進するため、ボランティア・NPO関係機関との連携・協働をすすめる必要がある。							